

研究機関：広島大学

研究課題名	多施設共同による自己免疫性膵炎の実態調査
研究責任者名	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰
研究期間	2016年2月9日(倫理委員会承認後)～ 2018年 3月
対象者	1995年1月～2016年12月の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で自己免疫性膵炎と診断された患者。
意義・目的	自己免疫性膵炎はIgG4が関連した全身性疾患の膵病変と考えられています。2002年に診断基準が提唱されて以来、症例数も増加し、その疫学や画像所見、血液検査項目、病理所見、治療法などの実態が明らかとなっています。しかしながら、自己免疫性膵炎再燃の予測因子やステロイド維持療法の必要性、長期予後などの明らかとなっていない点も多く、それらを明らかとするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は身長、体重、性別、年齢、血液検査、画像検査、治療内容です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	県立広島病院、広島総合病院、広島市民病院、安佐市民病院、広島赤十字・原爆病院、呉共済病院、国立病院機構呉医療センター、国立病院機構東広島医療センター 本学に情報を集め解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5192 広島大学病院 消化器・代謝内科 助教 石井 康隆